

第2回 小諸市内国道18号四ッ谷東・平原交差点に関する勉強会

日時：令和6年3月5日（火）

14時00分～

場所：小諸市役所（交流センター会議室）

議事次第

1. 開会

2. 挨拶

3. 出席者紹介

4. 議事

（1）勉強会の目的とメンバー

（2）今後の進め方

（3）課題と対策の方向性について【四ッ谷東交差点】

（4）現地状況課題【平原交差点】

5. 閉会

（配布資料）

・第2回 小諸市内 国道18号 四ッ谷東・平原交差点 に関する勉強会 資料

第2回
よつやひがし ひらはら
小諸市内 国道18号 四ツ谷東・平原交差点 に関する
勉強会

資料

令和6年3月5日（火）

小諸市

(1)勉強会の目的とメンバー

■勉強会の目的

小諸市内における国道18号四ツ谷東交差点、平原交差点に関し、交通状況や交通安全について関係機関で連携し、課題や対策方法等について勉強することを目的として、「小諸市内国道18号四ツ谷東・平原交差点に関する勉強会」を設置するものである。

■メンバー

小諸市	建設水道部	建設課長
長野県警	小諸警察署	交通課長
長野県	佐久建設事務所	整備課長
国土交通省	長野国道事務所	計画課長・交通対策課長

■オブザーバー

小諸市教育委員会 学校教育課長

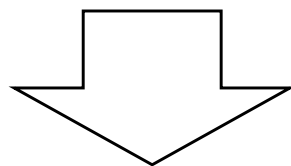
※事務局：小諸市

(2)今後の進め方

第1回勉強会(R5.11.6)

《内容》

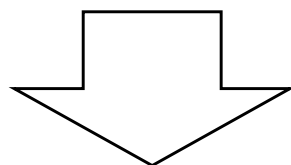
- ・ 最近の調査結果を踏まえた現況および課題について共有
- ・ 今後の進め方について共有



第2回勉強会(今回 R6.3.5)

《内容》

- ・ 四ッ谷東交差点 対策の方向性について共有
- ・ 平原交差点 現地状況の課題について共有

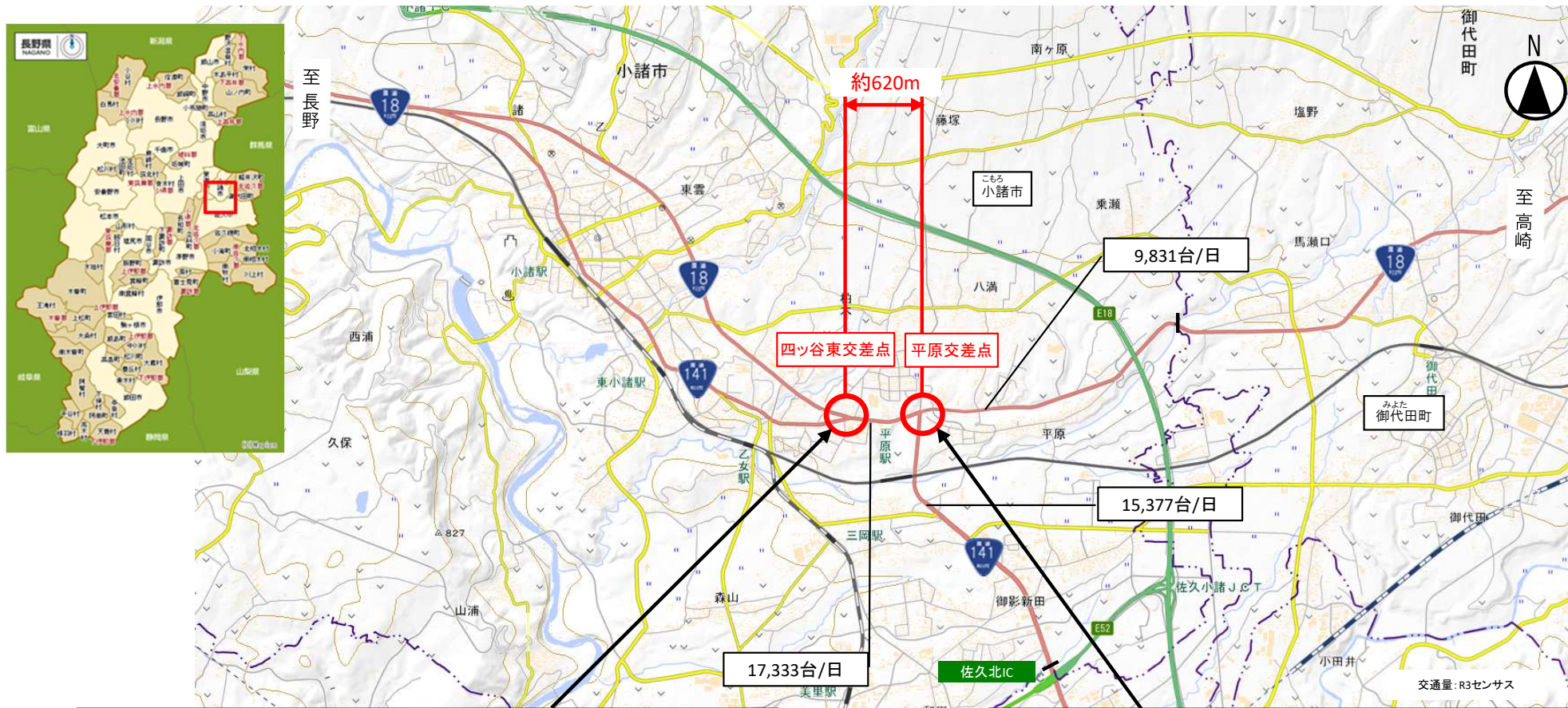


第3回以降(継続して適宜実施)

《内容》

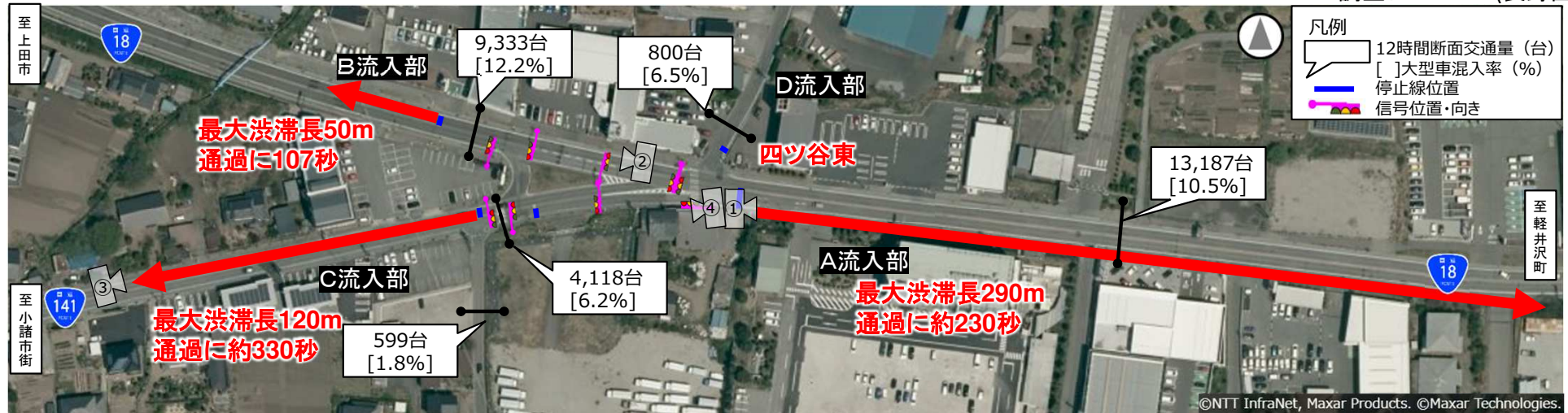
- ・ 対策の検討状況について共有 等

国道18号 長野県小諸市 平原交差点～四ッ谷東交差点 位置図



(3)課題と対策の方向性について1-1【四ツ谷東交差点】

調査日：R5.8.29(長野国道)



A流入部

写真①



<課題>

・信号現示が左折青矢印時、左折滞留長が不足しているため、直進車による左折阻害が発生し、最大で約290mの渋滞が発生(現況は左折溜まり(L=15m)のみで左折レーン無し)

<対策の方向性>

・**左折レーンの新設**により、左折車両による直進車の走行阻害を緩和

B流入部

写真②



<課題>

・停止線間距離が長く(交差点が大きく)、損失時間が長い(23秒/サイクル)ため最大で約50mの渋滞が発生

<対策の方向性>

・**停止線前出し**による交差点コンパクト化により、信号損失時間の短縮が図られ渋滞を緩和

C流入部

写真③



<課題>

・停止線間距離が長く(交差点が大きく)、損失時間が長い(23秒/サイクル)ため最大で約120mの渋滞が発生

<対策の方向性>

・**停止線前出し**による交差点コンパクト化により、信号損失時間の短縮が図られ渋滞を緩和

歩道未設置

写真④



<課題>

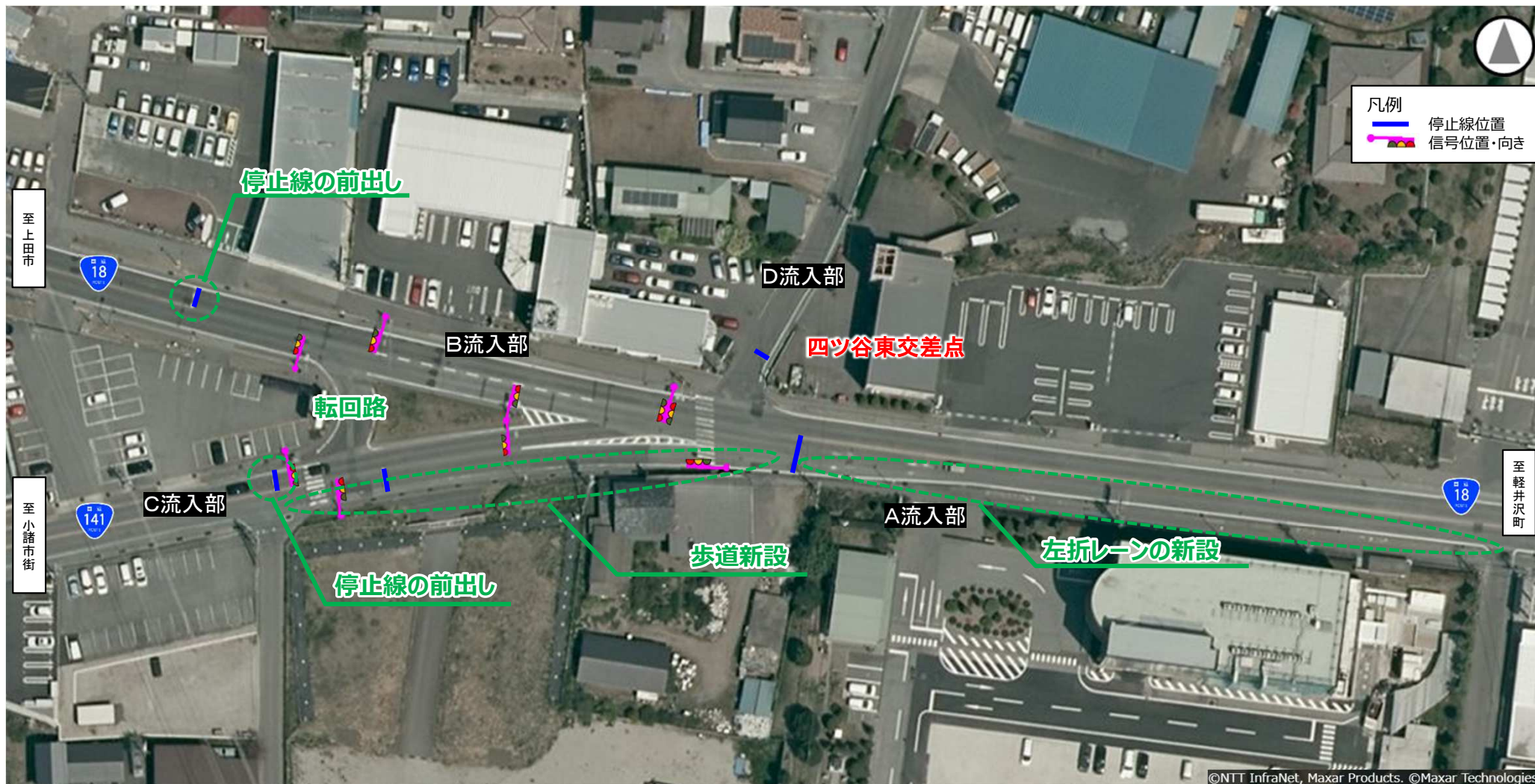
・横断待ちの溜まり場が国道にないため、通学児童は民地で信号待ちしている。

<対策の方向性>

・**歩道の設置**により、通学路の安全性向上

(3)課題と対策の方向性について1-2【四ツ谷東交差点】

- 左折レーンの新設や停止線の前出しによる交差点のコンパクト化により、渋滞の緩和を図る。
- 一部、歩道を新設することで、通学路の安全性向上を図る。



課題

- ・支障物件の移転
- ・転回路の閉鎖

(4)交通状況と課題【平原交差点】

R4.11月に長野国道にてB流入部の右折レーン長を用地内で可能な限り延伸(対策前 63m ⇒ 対策後 92m)。改善は見られるものの、依然渋滞が発生。また、その他の方向については交通量の一時的な集中によって渋滞が発生している。



A流入部



写真①

<課題>

・夕方の時間帯に交通量が一時的に集中し捌け残りにより、最大で20mの渋滞が発生

B流入部



写真②

<課題>

・右折交通量、対向直進車が多く、右折車両の捌け残りが発生。また、右折滞留長が不足し、右折ブロック(直進阻害)が発生。これらにより、最大で120mの渋滞が発生

D流入部



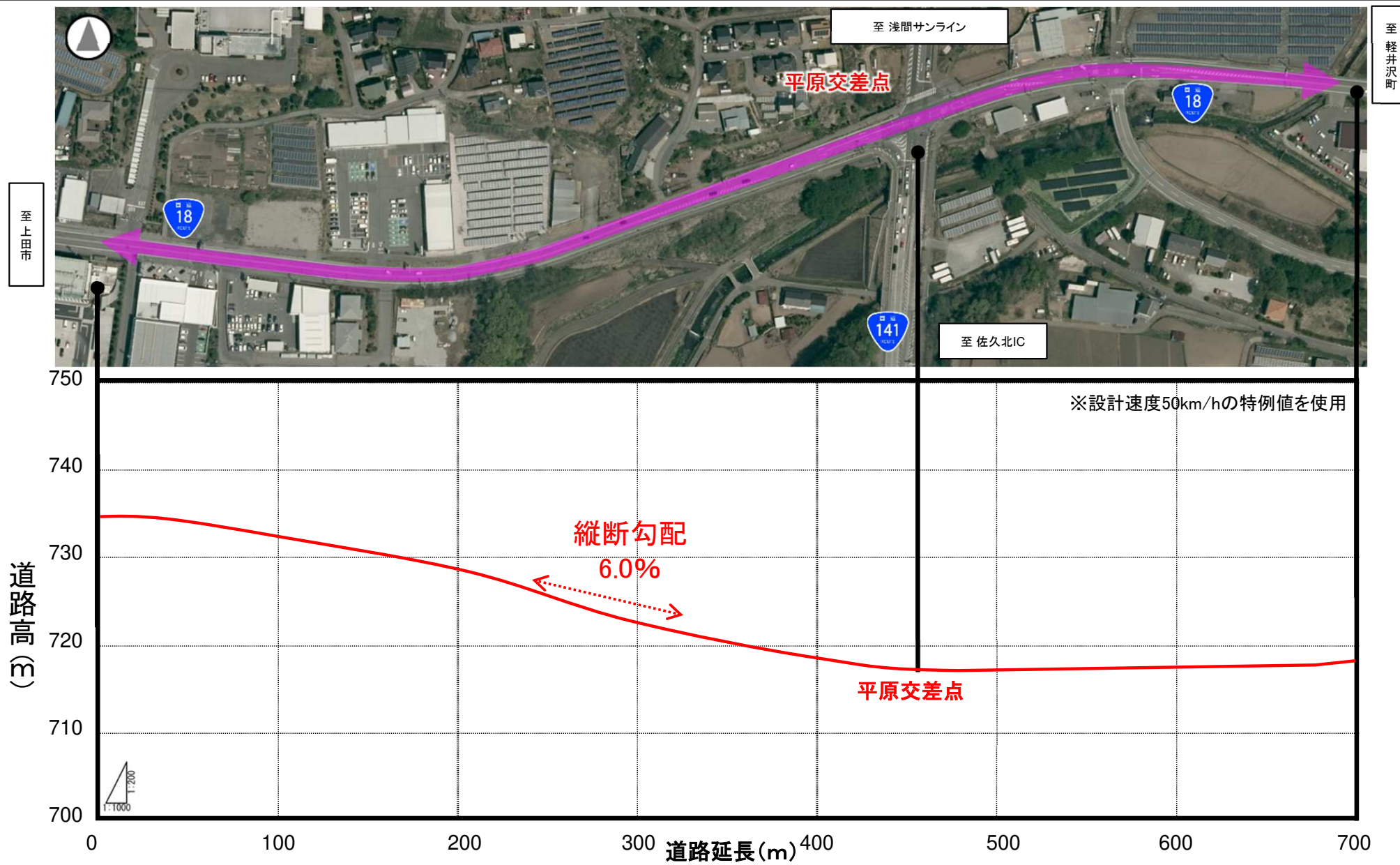
写真③

<課題>

・朝の時間帯に交通量が一時的に集中し捌け残りが発生したため、最大で90mの渋滞が発生

(4)現地状況課題【平原交差点】

- 国道18号の上り線の右折滞留長を延伸する対策を実施したが、滞留長が不足しており、直進阻害が発生している。
- 対策の検討にあたり、現地状況の整理をおこなった。
- 平原交差点から上田市方面は道路の縦断において、勾配6.0%の区間がある。
- 平原交差点を中心にS字線形となっている。



(4)現地状況課題【平原交差点】

- 平原交差点周辺には、地下横断BOX、橋梁などの既設構造物がある。
- 平原交差点の前後には、情報管路、下水道管等の地下埋設物や電柱がある。
- 道路線形や交差側道路、周辺構造物などへの影響を今後確認し、検討を進める。



<地下横断BOX>



<電柱>

